



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2016年10月No.413
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『笑顔と感謝の1年に』 国際会長 : 『私たちの未来は、今日から始まる』 アジア地域会長 : 『ワイズ運動を尊重しよう』 西日本区理事 : 『ワイズ魂で、更なるワイズの活性化を!』 中西部部長 : 『世界をみつめ、地域とあゆむ』	会 長 : 藤井 大祐 副会長 : 何 早林 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 松浦 和子 Y連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of October

「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、人に踏みつけられ、空の鳥が食べてしまった。ほかの種は石地に落ち、芽は出たが、水気がないので枯れてしまった。ほかの種は茨の中に落ち、茨と一緒に伸びて、押しつぶさってしまった。また、ほかの種はよい土地に落ち、生え出て、百倍の実を結んだ」

(ルカによる福音書8章5~8節)

「ミャンマーの誕生日」

中村 隆幸

ミャンマー第二の都市、マンダレーでの興味深い誕生日の習慣について、お話しします。私のマンダレーでの若い友人 Nay Min Oo 君に連れられて、彼の大学時代の友人を訪問しました。その日は彼の誕生日でした。彼は小さな町工場を営んでおり、数人の従業員と家族が、誕生日のパーティーのための食事などの準備をしていました。そのパーティーには、彼を知っている人、知らない人、近所の人、通りがかりの人達、誰でもが参加でき、食事をしてパーティーを楽しんでもらうということでした。楽しんでもらうことが、自分の幸せであり、一種の功德になるのだと言っていました。また、もう一人の友人も、誕生日で用意したごちそうを、福祉施設などの持っていき、施設の人に食べていただき、自分の幸せを少しでも多くの人におすそ分けするのが、ミャンマーでの誕生日を祝う習慣だと言っていました。友人の Nay Min Oo の話では、このような習慣は、この地域だけでなく、ヤンゴンのような大都会でも行われているとのことであった。このような習慣が続いているのには、やはり根底に仏教思想があるのだと感じました。そして、このような素晴らしい習慣が、これから発展していくミャンマーに、ずっと残ってくれることを願いました。

(次号は、藤原正巳さんです)

October Club Meeting

『BF』

10月第1例会

日 時 : 2016年10月19日(水) 18:45~20:45

場 所 : ホテルグランヴィア大阪

司会 : 山田 孝彦 君

1. 開会 藤井 大祐 会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 松浦 孝次 君
4. ゲスト・ビジター紹介 藤井 大祐 会長
5. 今月の強調月間 中村 隆幸 君
6. 晚餐 一同
7. 卓話「大阪 YMCA 戦略・世代間交流」
大阪 YMCA 中高齢者事業センター・重信直人さん
9. オークション 岡本 剛介 君
10. 連絡・報告・ニュース 各メンバーから
11. 誕生日・ニコニコ献金 一同
12. YMCA 報告 大阪 YMCA スタッフ 齋藤 郁恵さん、池田博人さん
13. 閉会 藤井 大祐 会長

お誕生日 : 該当者なし

※プレゼントは、中村隆幸メンが2個ご用意ください。

例会担当 : 1班=大村、角地、藤井、山田、山中の各メン

10月第2例会

日時 : 2016年10月26日(水) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

9月		種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント		ニコニコ献金	
在籍会員	21名	メ ン	12名	10名	9月	Og	9月 :	15,000円
例会出席	14名	メネット	4名	0名	現 金	0円		(メネットファンドへ)
うちメーキャップ	0名	ビジター	0名	0名	累 計		オークション :	5,400円
出席率	66.6%	ゲ ス ト	1名	0名	切 手	204g	累 計 :	177,846円
		合 計	17名	10名	現 金	0円		

イエス様が「種を蒔く人」のたとえを用いたのは、人々に理解されやすいように慮ったこと。

石地に落ちた種は、根がないので暫くは生き延びても、水気がないので枯れる。茨の中に落ちた種は、途中で富や快樂にとられて、実が熟するまでに至らない。「善い心をもって、御言葉を聞き、それをよく守り、忍耐して生きること」がまさに“人生の実”を結ぶのだと説かれています。

(聖句選/コメント:松浦 孝次)
(次号は谷川寛さんです)

9月第1例会報告

と き：2016年9月21日(水) 18:45~20:30
ところ：ホテルグランヴィア大阪 20階

雨が降りしきる9月の例会はメネット例会。松浦和子メネット会長、坂本千春メネットの司会進行で進められました。冒頭に、8月16日に死去した山村利子メネットを偲び、全員で黙祷をささげました。

晩餐後は、中西部の澄川菊代メネット主査による卓話で、今年度の西日本区のメネット事業報告がありました。

内容は、澄川主査が不登校、ひきこもりの中・高校生を支援している福岡県のフリースクール箱崎自由学舎「えすぺらんさ」(スペイン語で「希望」「夢」の意)を訪問した時の報告。福岡中央ワイズメンズクラブのメンバーでもある小田哲也さんが、2005年に創設。民家を改修し、自由な参加をモットーに学習活動や野外活動、農業体験、調理実習などを行っています。そこでは子どもたちに自信を持たせ、親を孤立させない取り組みをしているとのこと。5人の常勤のスタッフと15人のボランティアで運営され、現在6人の生徒が通っています。

子どもたちも様々な体験を通して、徐々に自尊心を高めつつあるとのこと。私たちはこのスクールに子どもたちの明るい未来を感じました。

ニコニコ献金で集められた15,000円は、すべてメネット活動に充てられました。

(中村 茂高)



メネット事業の意義、内容を熱く語る澄川メネット事業主査

≡≡≡≡ Club Activities September, 2016 ≡≡≡≡

On September 21, our club's September meeting was held at Hotel Granvia Osaka, with a total of 17 Y's Men, Y's Menettes and a visitor in attendance.

With its emphasis on "Y's Menettes' activities" this month, Ms. Kazuko Matsuura, Ms. Chiharu Sakamoto and other Y's Menettes presided over the meeting.

The highlight of the meeting was a speech made by Ms. Kikuyo Sumikawa, Service Director in charge of Y's Menettes Activities of the Japan Mid-West District.

Showing numbers of films, Ms. Sumikawa gave us a very interesting speech on a "Free School" named "Esperanza (hope or dream in Spanish) Hakozaki" in Fukuoka Prefecture of Kyushu, since supporting this school is a principal objective of the Y's Menettes' Activities for the year 2016 to 2017.

This school was established in February, 2005 for supporting dropout students of middle and/or senior high schools by Mr. Tetsuya Oda, a member of the Fukuoka Chuo Y's Men's Club. The main feature of this school is small-class teaching education, considering the intellectual levels and adaptabilities of the students. There are actually 6 students with 5 full-time teachers at present.

At the time of entering this school, teachers place their emphasis on how to open minds of those newly-enrolled students towards other people and society, and then gradually let the students know the importance of communication skill with other people through such experiences as lunch cooking, rice planting and harvesting, camping, volunteer activities, and a variety of recreation programs. This school is officially certified by the Japanese Government and many graduates have been successful in entering universities, colleges and technical schools.

All who attended fully understand the valuable activities of this Free School and we prayed for every good success of the school in the future.

Yen 15,000 was collected for our club's fund at the meeting which was given to our Y's Menettes' activities as usual.



先月、JICA の防災関連の研修プログラムで来日した一行の中に珍しく中東イエメンからの参加者がおりました。イエメン (Yemen) という国、アラビア半島の南端に位置する人口1800万ほどの貧しい国です。最近国際政治の舞台に突如登場。目下、代理戦争の様相を呈し、内戦寸前です。紀元前10世紀、東西を結ぶ交易ルートの要衝として、大変栄え、ローマ人は、この国を“Arabia Felix” (幸福のアラビア) と呼びました。

なぜなら、アラビア半島にあって、この国だけは雨が降り、農業が豊かな自然の恵みをもたらしました。

旧約聖書の列王記上10章には、シェバ王国が興り、シェバの女王がイスラエルのソロモン王を訪問した話が記されています。

聖書は、イスラエルのソロモン王は、地上の誰よりも裕福で賢明であったといひます。この噂を聞きつけて、遙か南のシェバの女王は、ソロモンの知恵を試すために遙々とイスラエルを訪問。女王はソロモンを試そうと数々の難問を浴びせましたが、ソロモン王は、そのすべての質問に完璧に答えた、といひます。女王は、感銘を受け、金、銀、宝石、さらに、おびただしい量の香料をソロモンに贈り、ソロモンも、その返礼に女王の望む宝物はなんでも与えたそうです。

実は、このシェバの王国は、エチオピアであった、という説があります。珍しく来日したイエメンの研修員に、講義の後の昼食時に、この話をぶつけました。彼は「エチオピア説は間違っている。シェバの女王は間違いなくイエメンが起源である。」と主張。この伝説は、今も彼の地で生きてると繰り返していました。



イスラエルのソロモン王とシェバの女王

9月第2例会報告

と き : 9月28日 (水) 18:30~20:30

と ころ : 大阪 YMCA 会館4F

出席者 : 石津、大村、岡本、中村茂、藤井、藤原、何、松浦、三浦、山田の各メン

〈ワイズ活動〉

- ① 大阪西クラブ 30周年記念例会
11/20 (日) 12:00~15:00 ホテルクライトン
新大阪 (参加予定 : 石津、大村、藤原、何、松浦、三浦)
- ② 中西部 YY フォーラム 11/23 (祝) 16:30~
土佐堀 Y302 号室 (締め切り 11/12)

〈クラブ活動〉

- ① 又アヌクラブ・Kathy 夫妻歓迎会 10/27 (木) が
んこ二条苑 (参加予定 : 大村、坂本千、谷川、藤原、
何、三浦)
- ② 土佐堀カーニバル 11/3 (祝)
13:20~13:40 ウクレレクラブ出演

(第2例会議事録より抜粋)

YMCA ニュース

☆第282回 早天祈禱会

日 時 : 2016年10月21日(金) 7:30~8:30

証 し : 大橋 昌美さん (大阪YMCAエイジングセンター
事業長、YMCA国際文化センター事業長)

場 所 : 大阪YMCA会館 10階チャペル

☆2016 チャリティー・ラン報告(速報)

9月22日開催のチャリティーランへのご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。

会場 : 花博記念公園鶴見緑地 特設コース

【支援金額】(2016.9.22付) ¥3,377,500

【参加者数】たすきリレー・25チーム125名/10kmラン・13チーム13名/グループラン・46チーム230名/ファミリー・キッズラン・31チーム121名/ボランティア150名/その他の来場者125名/参加者・来場者数のべ764名

大会開催中は曇りで、絶好のラン日和。閉会式終了後、片付けにかかっていた時に雨が降り出すという絶妙のタイミングでした。今回ファミリー・キッズのチーム数が増加したこと、駅に貼りだしたポスターを見て初めて参加されたご家族がいらっしゃいました。そのチームがコスチューム賞を獲得されたので、とても喜んでいただくことができ、継続して参加していただければと思います。

☆大阪YMCA大会2016 開催のお知らせ

・日 時 : 2016年11月23日 (水・祝)

・場 所 : 大阪YMCA 土佐堀館

・内 容

- ① 10:00~12:00 Yアクターフォーラム
- ② 12:00~13:20 Yアクショングループ協議会
- ③ 13:30~15:30 Yボランティアの集い

参加申し込みは、大阪 YMCA 本部事務局まで (TEL: 06-6441-0894) 【同日開催】YYY フォーラム (16:30~18:00 大阪YMCA会館3階) 中西部地区の各ワイズメンズクラブと大阪YMCAとの相互の発展と協働について

(船戸 輝久)



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ピジターからのメッセージ》

○メネット事業の内容について、よくわかりました。発達障害や、自閉症等の子供たちの支援は、大変よいと思います。子供たちが自信を持つことができ、将来社会生活を行う基となることでしょう。(石津 雅人)

○9月に入り台風が多く日本に上陸し、災害が続いています。異常気象と言われていますが、これからはもっと災害が増え、こんな状況が当たり前になるのではと思います。(大村 肇)

○今日は少し出席メンバーが少なかったですが、センテナリアルらしい例会になりました。(坂本 千春)

○澄川メネット主査さま、「えすぺらんざ」等 本年度のメネット事業の卓話ありがとうございました。クラブの皆さま、「11月3日 土佐堀カーニバル出演」大勢の参加(特に歌を)よろしくお願ひいたします。(芝田 光雄)

○9月例会、出席者は少なかったですが、内容の濃いメネット例会でした。(谷川 寛)

○引きこもりや、不登校の子らのための「フリースクール」の興味あるお話を聞けて、澄川さんありがとうございました。(中村 茂高)

○山村利子さんとの思い出に感謝。どうか安らかに！！

(中村 幸枝)

○今まで、クラブと仕事との両立が非常に難しい状況でしたが、この度人事異動があり、MV吹田千里丘店・副店長になりました。今はまだバタバタしておりますが、これからも皆様と共に楽しいクラブ運営に努めて参ります。今後ともよろしくお願ひします。(藤井 大祐)

○メネット例会、メネットの運営も手際よく、なかなかよいものですね。時折こういう機会を持てればと願ひます。卓話は本年度のメネット事業「フリースクール箱崎学舎」についてのお話。「大阪Yの表コミ」の教育とだぶって聞きましたが、このような芽が全国に広がっていくことを願っております。(藤原 正巳)

○メネット事業について澄川メネット主査から拝聴。ワイズならでは「フリースクール」の役割、また子供たちの行動に自信を持たせるのに「ほめる」がポイントだなど、括目すべき内容を学びました。(松浦 孝次)

○今夕は「メネットナイト」。澄川メネット事業主査から、えすぺらんざ支援などのお話を伺いました。不登校の現状や学習内容など、理解を深めることができました。ありがとうございました。(松浦 和子)

○長い間、来られなくてすみませんでした。いつもグランヴィアでの卓話は勉強になり深く考えます。これからもよろしくお願ひします。(松田 明久)

○澄川メネット主査、箱崎自由学校のスピーチをありがとうございました。あすのチャリティーランの盛会を祈って！！

(三浦 直之)

○「年齢の故」「老化現象」とは思いたくないのですが、周りの他の人のお話の内容が、スーッと頭に入ってこないようです。そのため、失礼な応答をしているかもしれません。お許し下さるよう、おわび申し上げます。(山田 孝彦)

○メネット事業でサポートしておられるフリースクール。初めて内容を垣間見ましたが、感心しました。しっかり活動を推進してください。(山中 秀男)

○メネットナイト。澄川メネット主査を迎え「今年度のメネット事業」のお話を聞き、共に協力をしたいと思ひます。

(山中ちあき)



茶会の手ほどきをする山中メンと中村メネット

香港グローバルシチズンキャンプ報告

8月、大阪・香港・台湾 YMCA の学生が集い文化交流を行う「香港グローバルシチズンキャンプ」を行いました。その中で、日本チームはワイズメンズクラブの方々から教えていただいた茶道を紹介しました。学習会では、お茶の作法だけでなく、茶道の目指す理想の境地とはどんなものなのか、英語表現も交えて教えていただきました。奥の深い茶道の世界に、私たち自身が感銘を受け、今日の学びを必ず伝えなければ、という使命感を持って香港に行きました。

香港ではまず、私たちに考えた「茶道の目指すものは平和の実現」ということを伝え、お茶の立て方などのデモンストレーションを行い、実際に八つ橋と抹茶を味わってもらいました。香港や台湾の方々からは、「抹茶味のお菓子は食べたことがあったけれど、こんなに深い意味があるなんて知らなかった！」という驚きと喜びの声を聴くことができました。この心のつながりが、平和の一助となることを願うばかりです。

大阪 YMCA 表現・コミュニケーション学科

齋藤 郁恵

後 記

台風18号は関西への被害はまぬがれましたが、今年は台風の多いシーズンとなりました。

大気も不安定で、何かと雨が心配されますが、体調に十分気をつけ、催しの多い秋を乗り切りましょう！

S.N